

事業名	身体障害者総合援護費			調書番号	37
細事業名	オストメイト社会適応訓練事業費	財務コード	080513		
担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 地域生活支援担当 担当 (内線)			3219	

事業の概要

実施期間	始期 H12 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	オストメイト(ストマ(人工肛門、人工膀胱の排泄口)用装具の装着者)及びその家族	装具の使用等について正しい知識の習得と社会生活に必要な相談が受けられる	社会復帰及び福祉向上の促進
内容	事業概要 オストメイト及び家族を対象とした社会適応訓練事業の実施 ・委託先：公益社団法人日本オストミー協会山梨県支部 ・講習・相談の実施(年6回以上) ・内容：ストマ用装具に関する講習・相談(ストマ用装具についての正しい知識、使用方法など) 社会生活に関する講習・相談(食事・入浴方法、就学・就労・職場生活など)		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	年間講習・相談開催回数	目標	6	6	6	6	6	6	
		実績(見込)	6	6	6	6	6	6	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標	講習・相談参加者延べ人数	目標	150	150	150	150	150	150	
		実績(見込)	103	125	142	160	133	140	
		達成率	68.7	83.3	94.7	106.7	88.7		
		達成区分	c	b	b	b	b		
決算(予算) 単位:千円		300	300	276	300	268	268	268	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	概ね1回あたり20人程度の出席者がいるが、周知方法の改善等により更に受講者数の増加が見込めると考えられる。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	事業の周知方法を工夫することにより、講習・相談参加者数の増加が可能。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明	オストメイト装具装着者の事業参加を進めるため、事業の効果的な広報に努める必要がある。		
見直しの必要性	有	事業実施にあたり、装具装着者すべてに情報が行き渡っていないことを考え、事業の周知や医療機関等との連携体制の強化などを精力的に進める必要がある。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	委託事業の内容に医療機関等との連携や広報手段の検討などを新たに仕様書に組み入れるなど、事業参加者の更なる増加が図られるよう、事業実施方法を工夫していく。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。